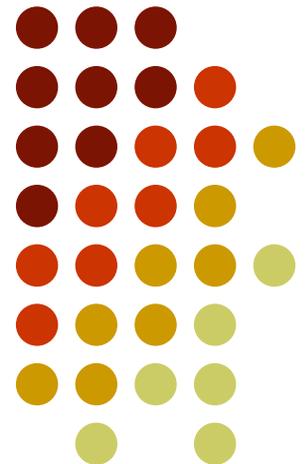


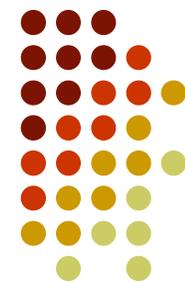
図書館サービスにおける システムモデル

- サービスと技術の接点 -

筑波大学
宇陀則彦

2004.12.21



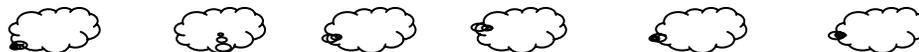
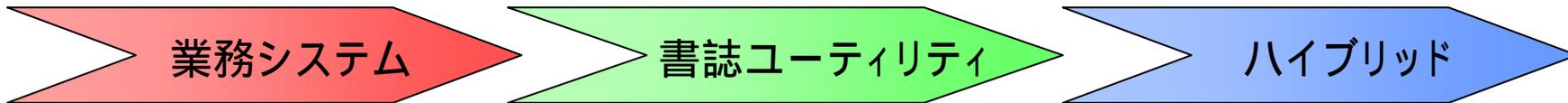
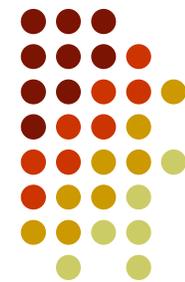


図書館概念の3類型

- M.K. Buckland. 『図書館サービスの再構築』

	図書館業務	図書館資料
紙メディア図書館	紙	紙
機械化図書館	コンピュータ	紙
電子図書館	コンピュータ	電子メディア

図書館システムの変遷



大学図書館



公共図書館



学校図書館



図書館システムのかたち

図書館

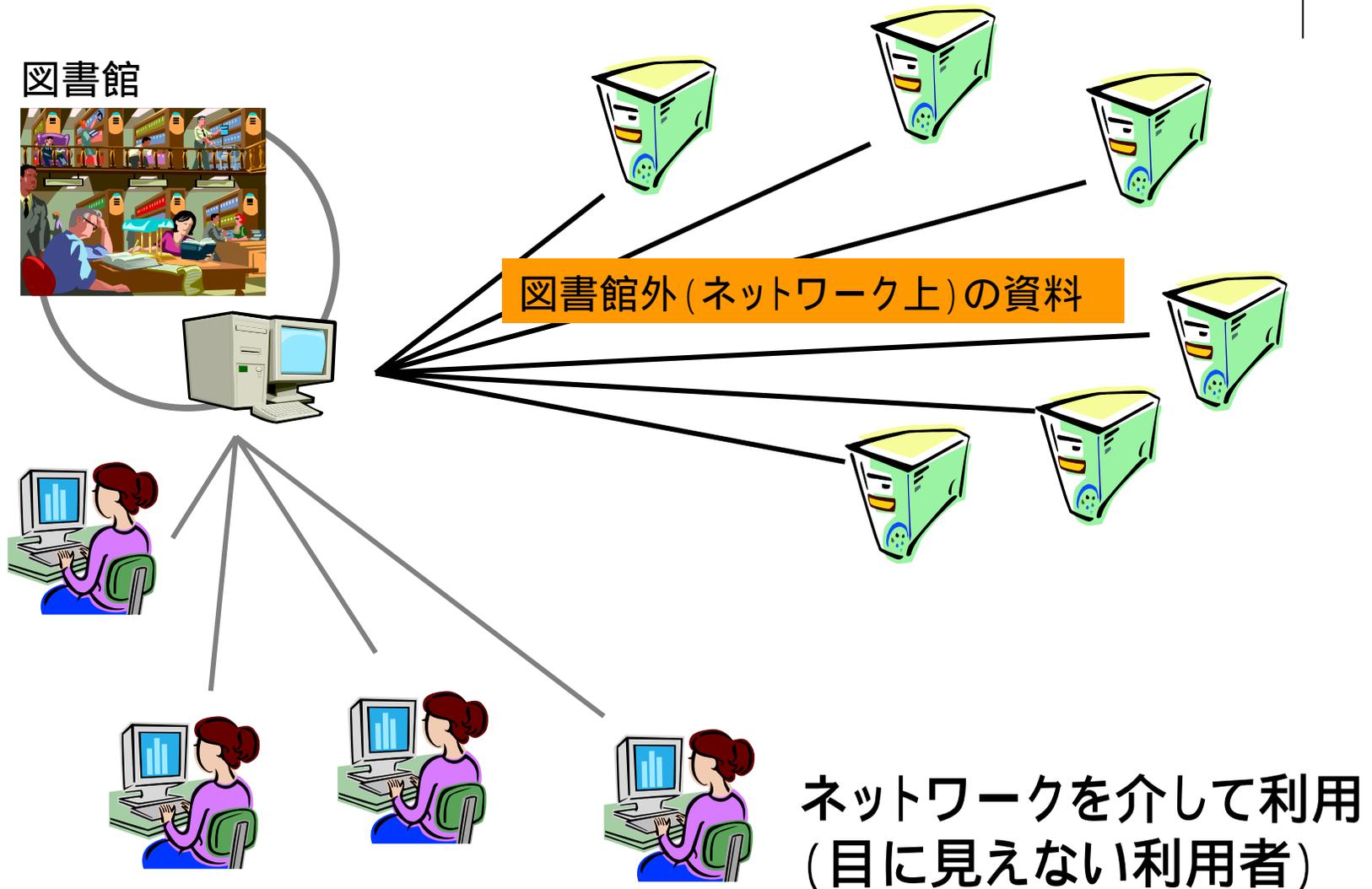


- 図書館が所蔵する資料のみが対象
- 来館者が対象
(目に見える利用者)

利用者

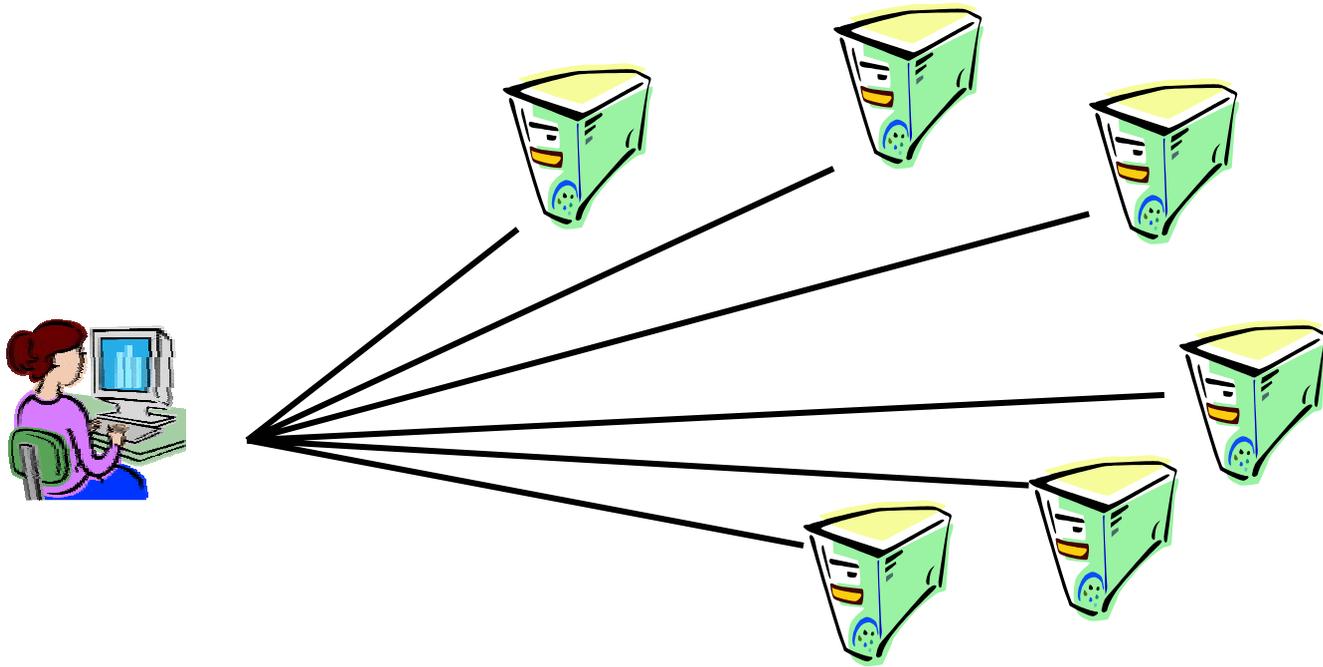


図書館システムのかたち





図書館システムのかたち



- 利用者は求める情報資源がどこにあるのかわからない。
- 情報資源ごとに別のシステムを操作しなければならない。



学術情報サービスに関わるトレンド

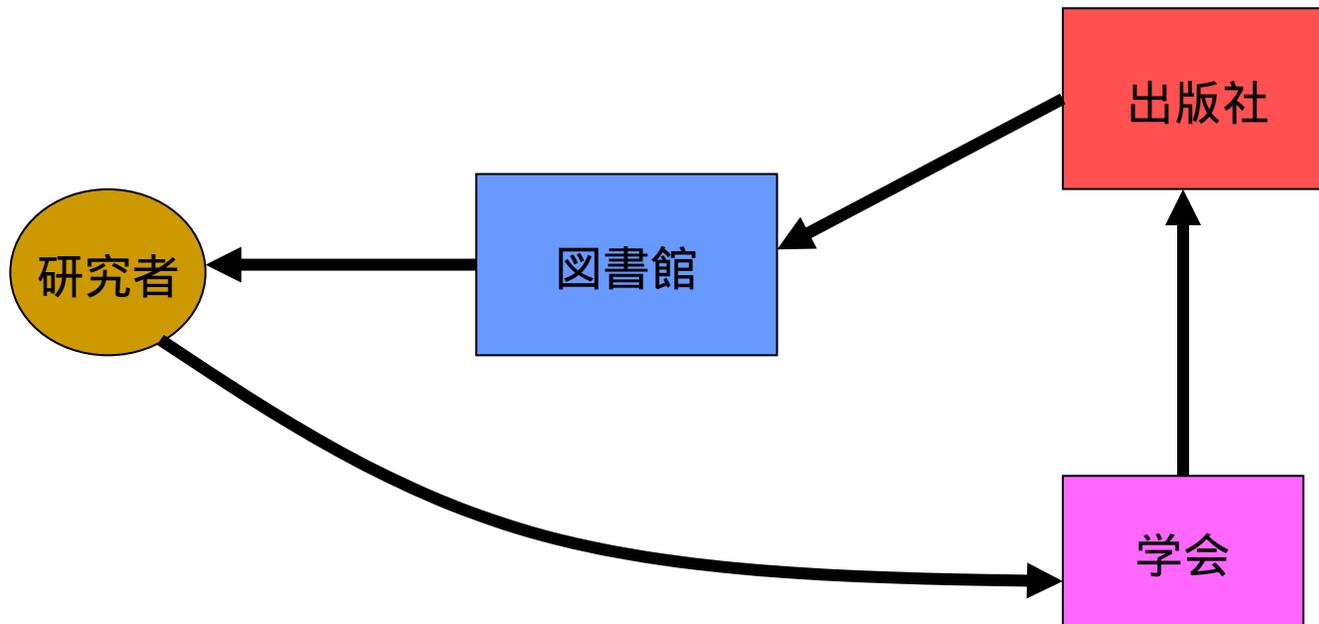
(戦略トレンド)

- 電子ジャーナル
- コンソーシアム
- SPARC
- オープンアクセス
- 機関リポジトリ
- セルフアーカイブ
- 学術ポータル
- My Library
- サブジェクトゲートウェイ

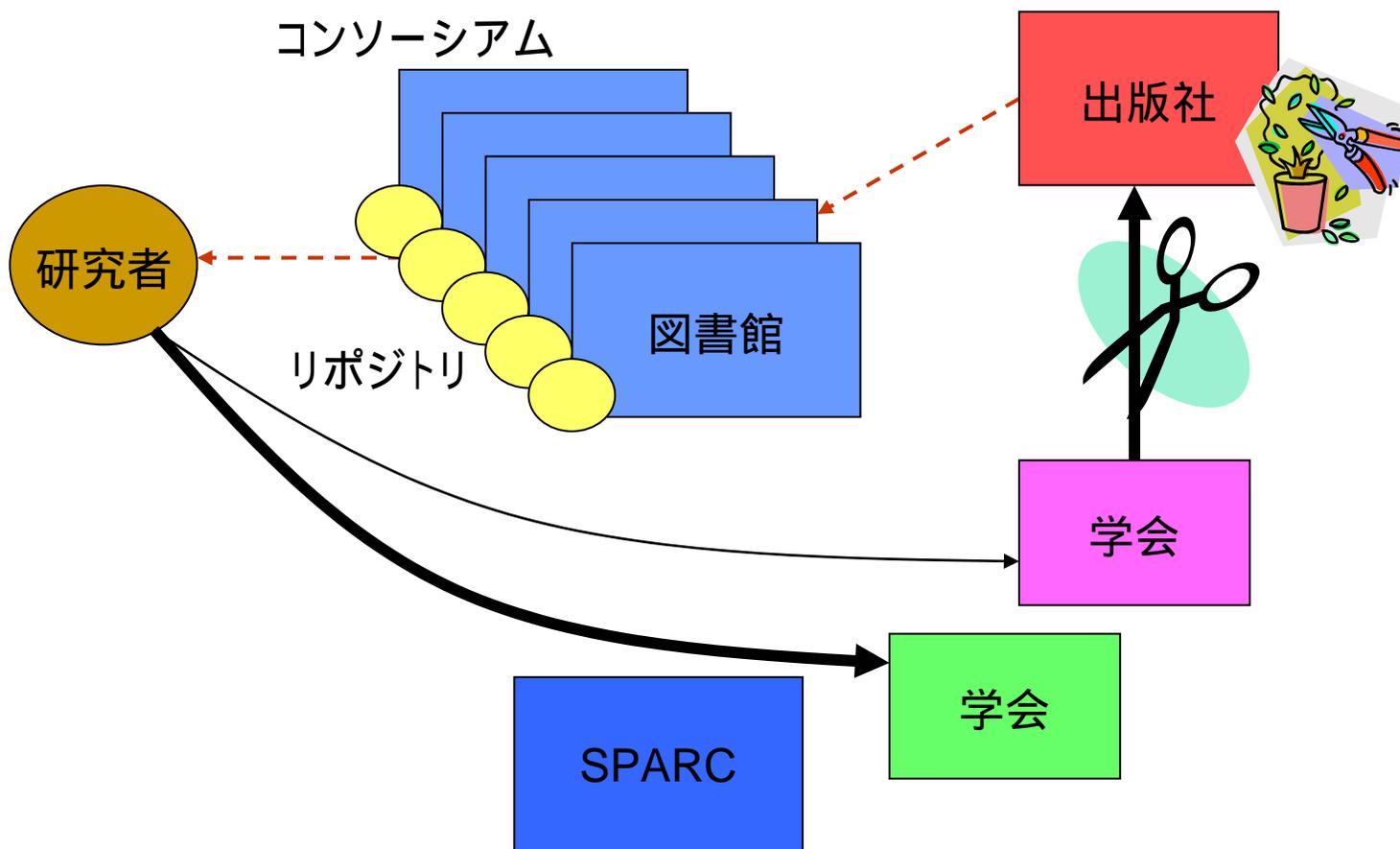
(技術トレンド)

- メタデータ
 - スキーマレジストリ
 - ハーヴェスティング
- リンキングシステム
 - DOI, OpenURL, resolver
- Web Services
 - UDDI, WSDL, SOAP
- Semantic Web
 - OWL, Topic Maps
- Google Scholar

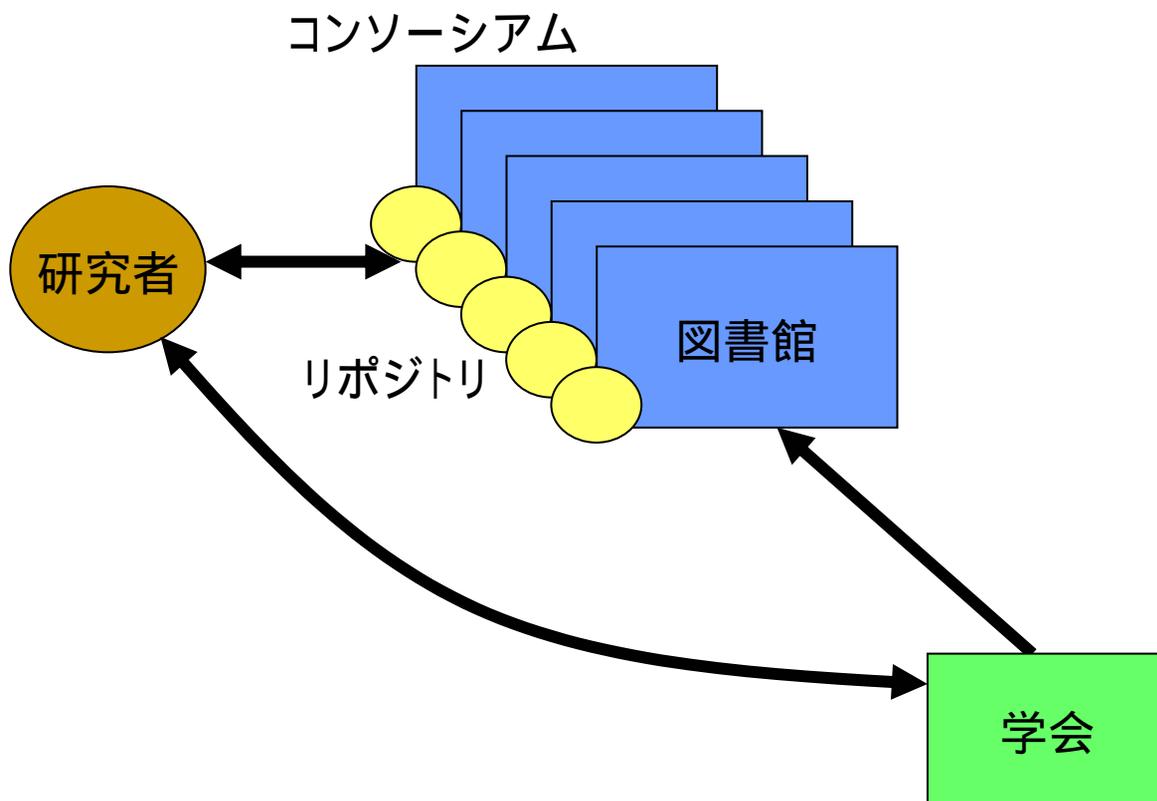
戦略トレンド



戦略トレンド



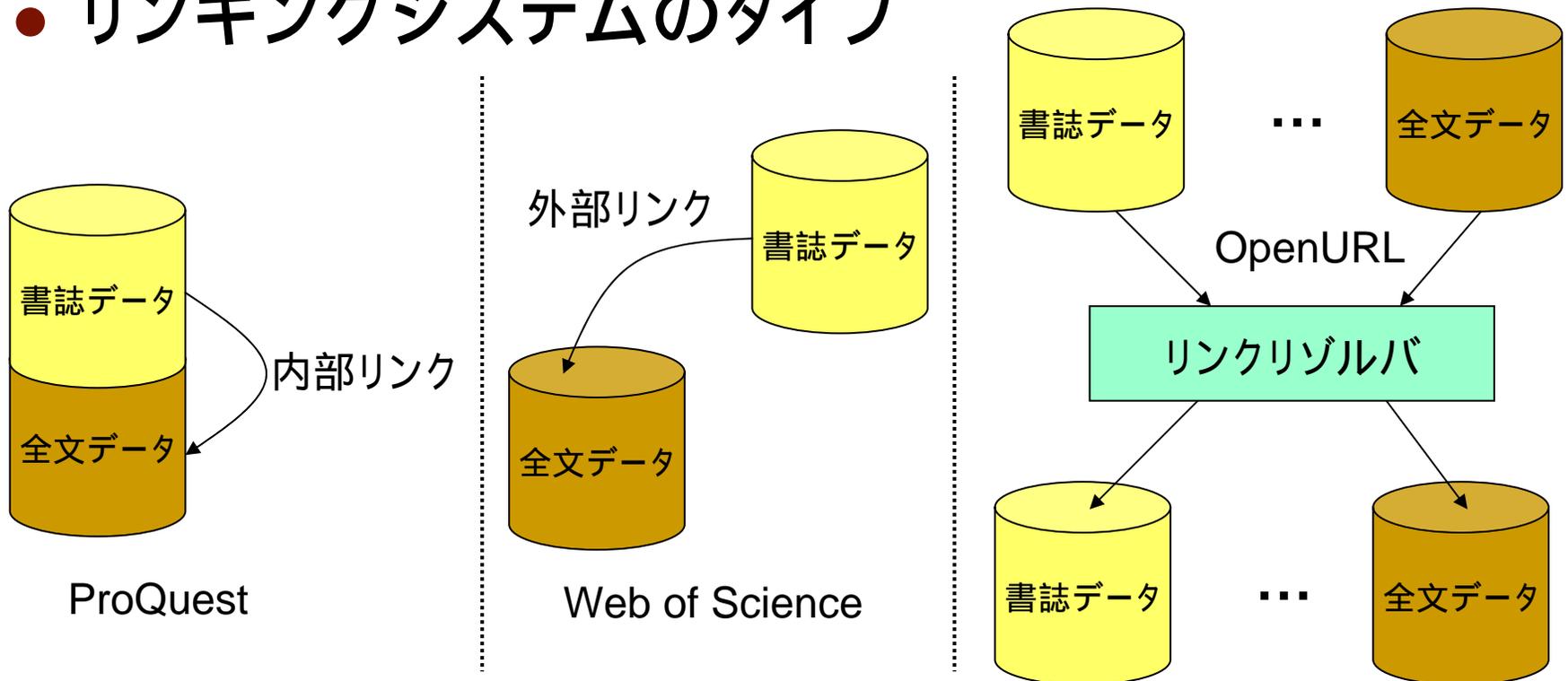
戦略トレンド





技術トレンド(リンキングシステム)

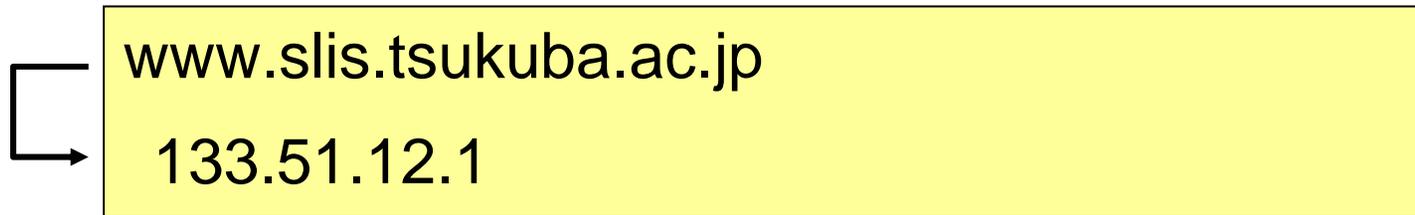
- 多様な情報資源を互いに関連づける。
- 情報資源の違いを意識する必要がなくなる。
- リンキングシステムのタイプ





リンクリゾルバとOpenURL

ネームサーバ(リゾルバ)



DOI リゾルバ

対応付が
固定



OpenURL

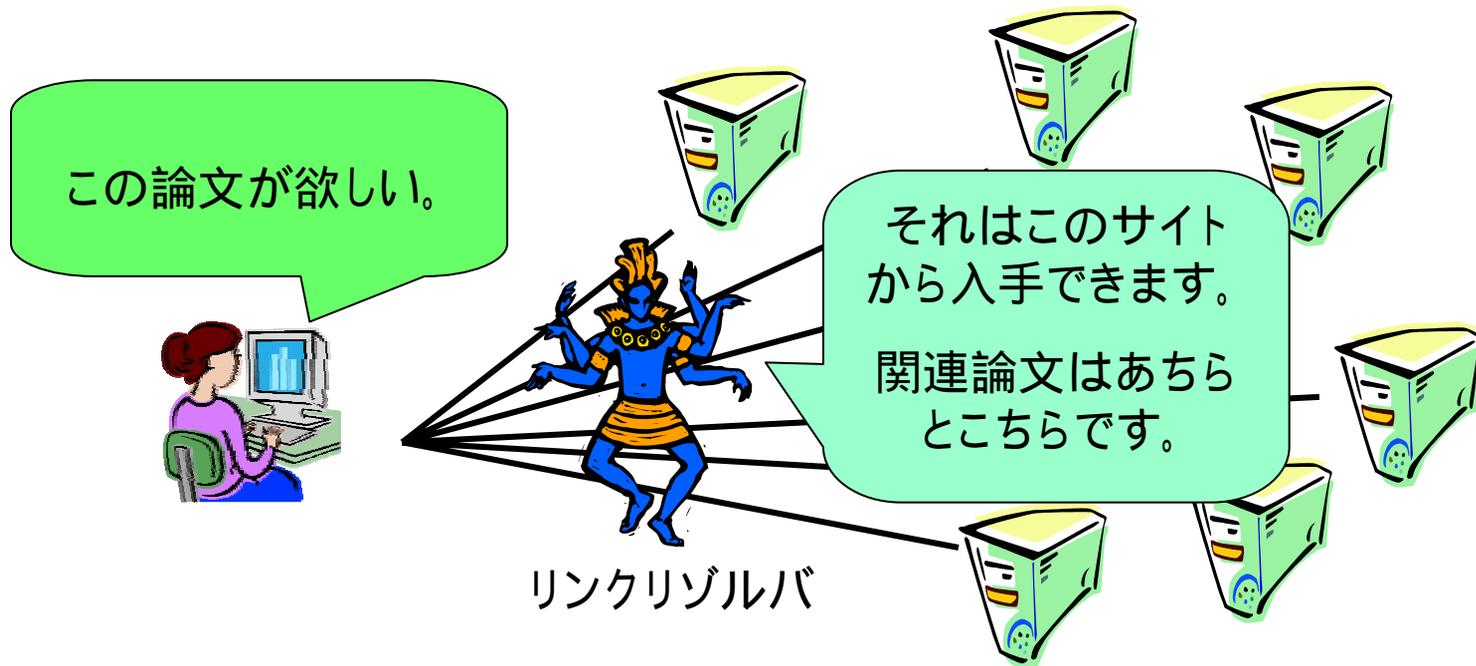
リンクリゾルバ(SFX)

対応付が
柔軟

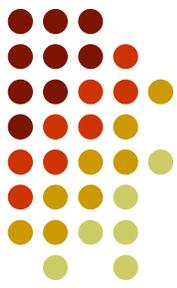




図書館システムのかたち

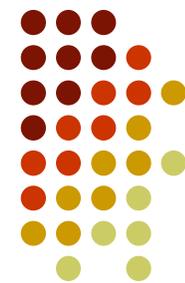


- 利用者は求める情報資源がどこにあるのかわからない。
- 情報資源ごとに別のシステムを操作しなければならない。



いくつかのシステム

- <http://www.doi.org/> (DOI)
- <http://www.crossref.org/> (CrossRef)
- http://www.usaco.co.jp/products/ex_libris/index.html (SFX)
- <http://ndl.go.jp/jp/library/cae/2004/E-33.html> (OpenURLの動向)
- <http://japan.elsevier.com/> (SCOPUS)



考えるべきこと(議論したいこと)

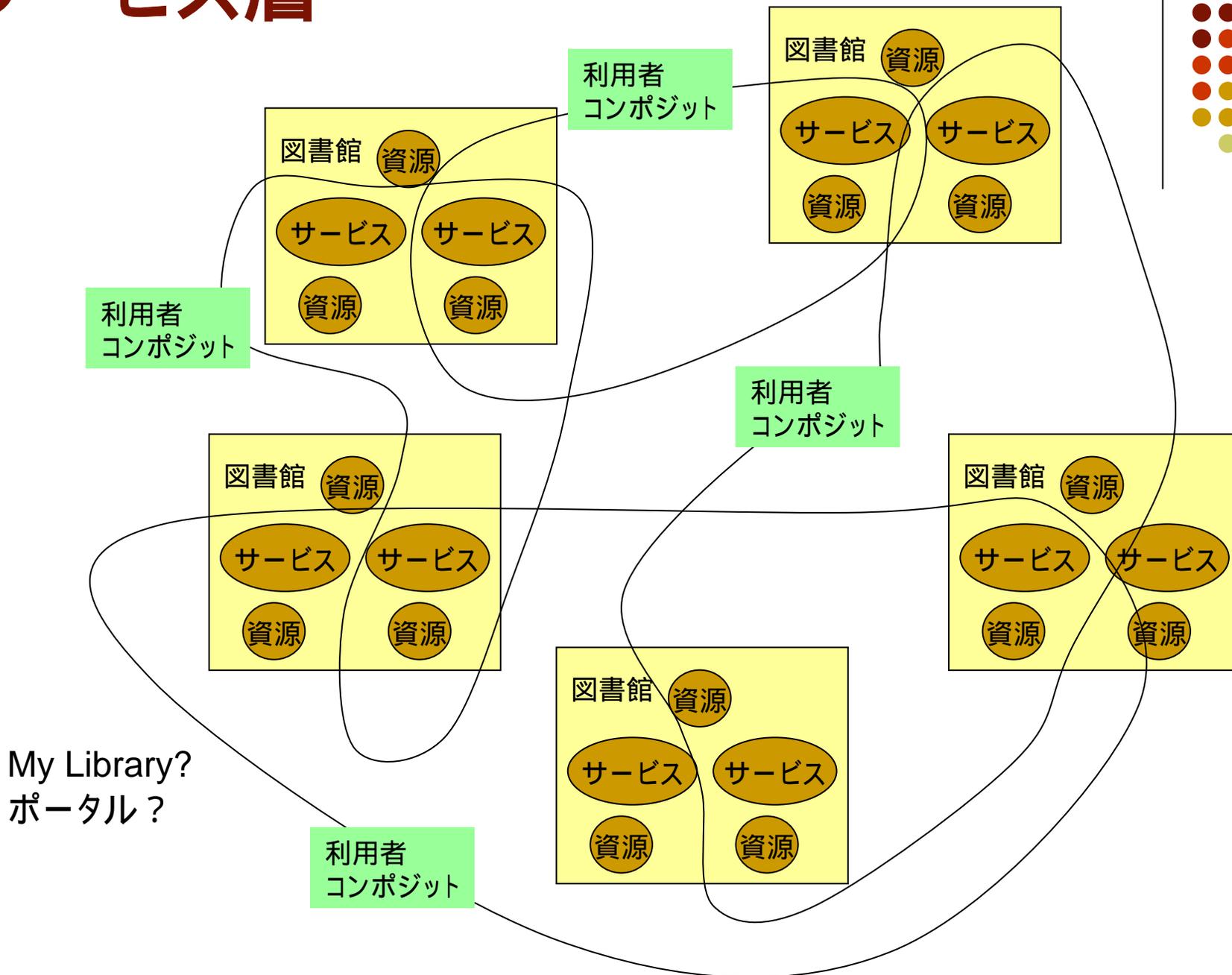
今後の図書館サービスとシステムの方向性は？

サービス層

設計層

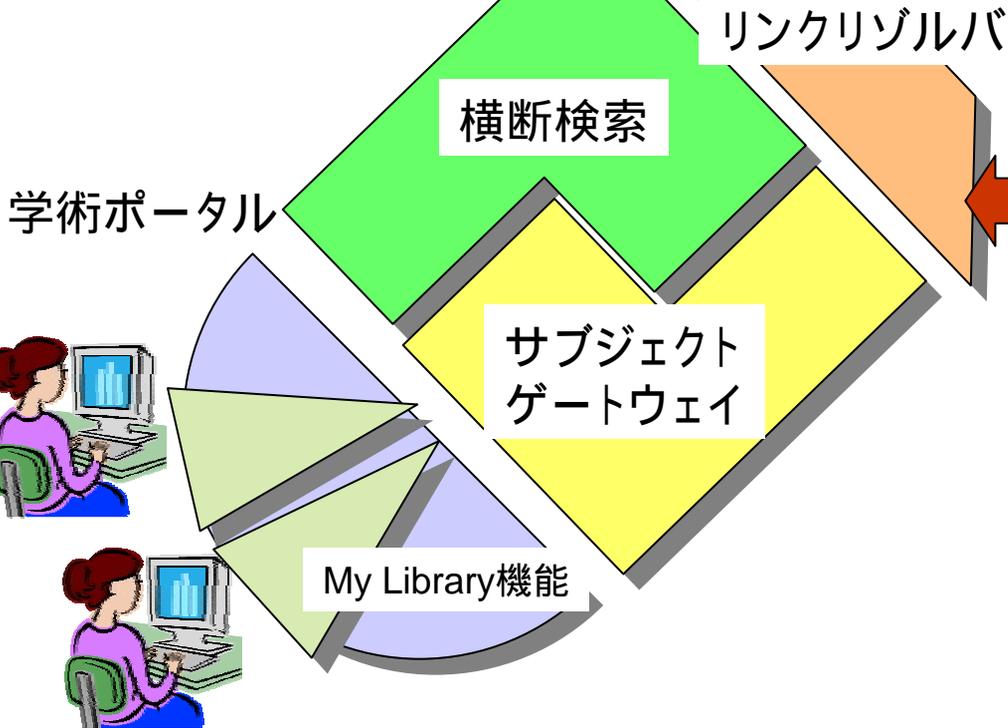
実装層

サービス層



設計層

ネットワーク情報資源
(オープンアクセス)



ローカル情報資源 (機関リポジトリ)





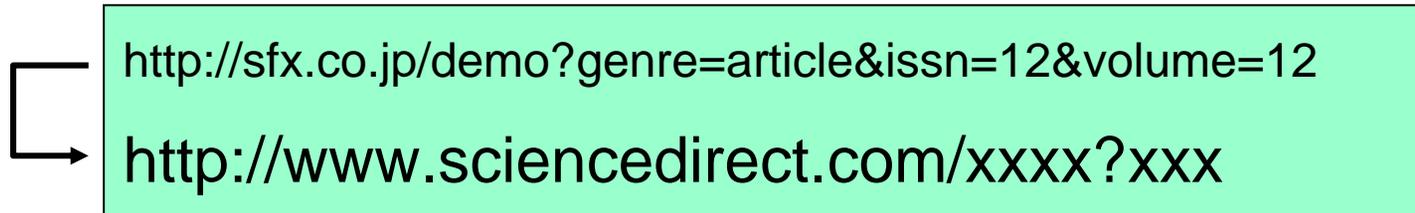
もう一歩進めると

- 情報資源を組み合わせて、付加価値を引き出す。
- 所在リゾルバからSemanticリゾルバへ
- 利用者が自由に検索パラメータやサブジェクトの構造をカスタマイズできる。
- 知識発見、知的創造環境、My Second Brain
- 自己組織化

Semantic リゾルバ

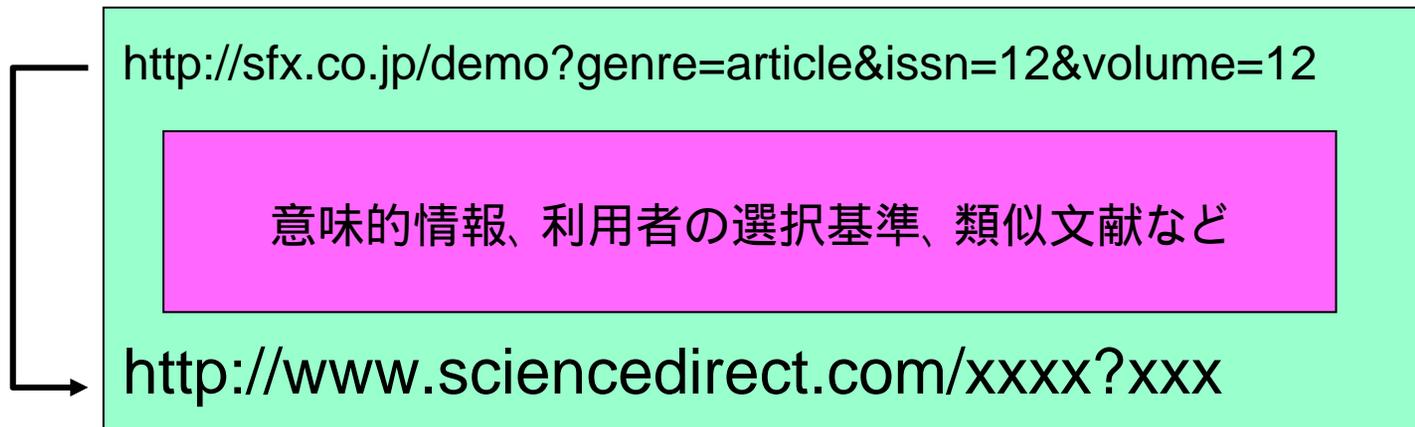


リンクリゾルバ(SFX)

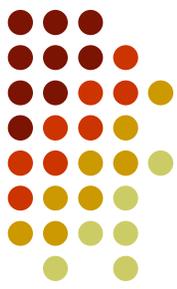


所在をリゾルブしているだけ

概念リゾルバ



利用者が欲しい文献へリンク



おわりに

- ”図書館”システムに限定しなくてもよい。
- 図書館システムに対する要求が大きく変わっているのではないか。
- 「図書館サービス」とは何を指すのかを問い直す。
- サービスが先か、技術が先か。
- 皆さん、図書館システムに何を期待しますか？
 - そんな機能じゃ全然足りない。あるいは、逆に、
 - そこまでやらなくてもよい。それは図書館ではない。
 - こうしたほうがよい。